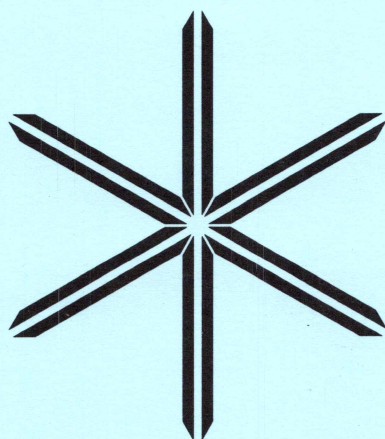


2026年（令和8年） 同窓会ガイド

121回（2026年卒）



EISHIN GAKUEN
Since 1904



盈進学園同窓会

校 歌

作詞 葛原しげる
作曲 片山頼太郎

1. 眼四海に放つべく
まなごし かい はな
 偉容厳たり熊ヶ峰
いようげん くま みね
 手城湾頭鍛練の
てしろ わんとう たんれん
 白帆をあげて大洋へ
しらほ たいよう
 波越え行くかわが小舟
なみこ ゆ おぶね
 盈進盈進矜れよ盈進
えいしんえいしんほこ えいしん
 気高き希望の舵とりて
けだか のぞみ かじ
うなじ はる
 海路遙けくましぐらに
2. 朝日夕日に聳えつつ
あさひ ゆうひ そび
 松も映ゆるや葦陽城
まつ は いようじょう
 古き歴史も輝きて
ふる れきし かがや
 行手の闇を照らしつつ
ゆくて やみ て
 今新らしき生命わく
いまあた いのち
 盈進盈進矜れよ盈進
えいしんえいしんほこ えいしん
 報恩感謝をしろべにて
ほうおんかんしゃ
すす えいこうひと
 進めよ栄光一すじに
3. 昼夜わかたず混々と
ちゅうや こんこん
 倦まず注ぐや芦田川
う そそ あしだがわ
 鉄路東西休むなく
てつろ とうざいやす
 額の汗に勤勞の
ひたい あせ きんろう
 華永劫に香ぞ高き
はなえいごう か たか
 盈進盈進矜れよ盈進
えいしんえいしんほこ えいしん
 興隆果てなき我國の
こうりゅうは わかくに
ひかり あふ あめつち
 光は溢れん天地に

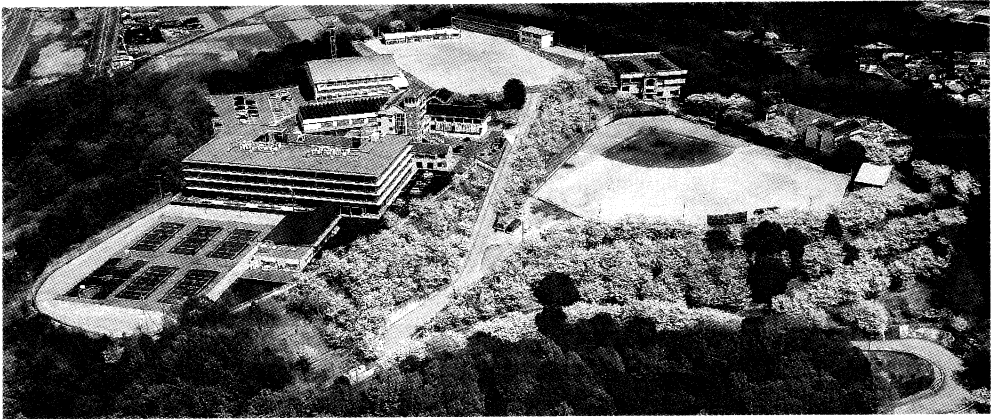
応援歌 (旧校歌)

作詞 藤井款三郎
作曲

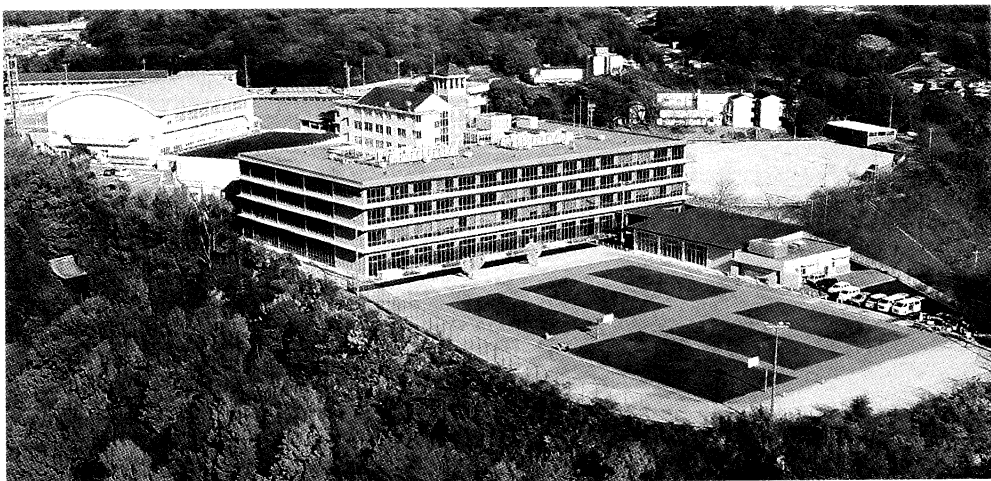
1. 仰げば高き久松城
あお たか ひさまつじょう
 芦田の流れ滔々と
あしだ なが とうとう
 三百年の星霜に
さんびやくねん せいそう
 いらかつら ふくやまし
いらかつら ふくやまし
 薨列ぬる福山市
はるあいたい くも い
 春鬢黓の雲に入り
あきえんらん きりとぞ
 秋烟嵐の霧鎖す
2. 此に集へる健男子
ここ つど けんだんじ
 牙籌の実務を掌り
がちゅう じつむ つかさど
 宝庫の秘鑰を開かんと
ほうこ ひやく ひら
 智識の窓に燭乗りて
ちしき まど しょくと
 あさ修養の魂を練り
しゅうよう こん ね
ゆうかつどう わんきた
 夕活動の腕鍛ふ
3. 見よ部山の雪の晨
み しとみやま ゆき しん
 我が学園に孫康の
わ がくえん そんこう
 苦学しのびて励むべく
くがく はげ
 螢火乱れて夏は飛ぶ
けいかみだ なつ と
 瓶川堤草を藉く
かめがわつみつみくさ し
いま しゃいん ここの
 今の事胤は此に在り

目 次

歓迎のことば 同窓会会長 小林 茂之	1
贈ることば	2
同窓会のあゆみ	12
同窓会活動のあらまし 同窓会幹事長 天満 敬泰	13
同窓会に入会される皆さんへ	16
同窓会からのお知らせ	17
同窓会総会のご案内 総会実行委員長 萩原 康博	18
会 則	19



▲学園全景



▲高校棟前の南グラウンド、校舎の奥に北グラウンドを望む

贈 る こ と ば

いもおか ひろのぶ
副会長 今岡 寛信 (64回卒)

「夢と希望を持って一度きりの人生を笑顔で」

人はなぜ一生懸命生き、勉強にも励み働くのでしょうか。私は人生は長く複雑な「あみだくじ」のようなものだと思っています。右に左に折れ曲がりながら進んでいく「あみだくじ」と同じです。前に進めない、道が見えない、悩みもがき、あがき耐えなければならぬ苦しい時期は誰にでもあります。でも一生懸命に生きてると不思議に出会いがやってくるものです。まるで「あみだくじ」に加えられた一本の横棒のように、その出会いが方向を変えてくれます。すると、これまでと違った景色が広がっていきます。まるで心の霧が晴れるように、一生懸命生きて、何事も一生懸命行っていると必ずいい出会いがあります。しかし、逆も真なりです。手を抜いて生きようとする、出会ってはいけない人と知り合ってしまうこともあります。人は、人との出会いによって行くべき方向にも、そうでない方向にも導かれてしまうものです。何事も一生懸命楽しく行っていると豊かで本物の生き方をしている人と出会い、自身を成長させてくれます。良い生き方をしている人とのご縁を大切に、これからの人生を生き生きと楽しく歩まれることを願っています。

ひらまつ まさと
副会長 平松 正人 (69回卒)

「感謝と思いやりのところから」

259名の卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。令和8年「午年」をどのような気持ちで迎えられ、どのような日常を過ごそうと思われたのでしょうか。元号にはその時代の理想が表されます。「和」という漢字が繰り返し用いられてきたのは、「世の中が平和でありますように」「和やかな日々が続きますように」といった願いからでしょう。世界情勢が混沌とする今、「和」という漢字に思いを馳せてください。

「和」を実現する手がかりは「感謝」「思いやり」といった温かい心を「ありがとう」という言葉に託して伝え合うことだと思います。新しい人生の始まりに改めて「令和」の意味を考えてください。

最後に「前程似锦」（未来は錦のように輝かしい）という言葉をご贈ります。君たちの未来の輝かしい時間はたっぷりあります。皆様のご活躍を祈っています。

ひろやす かつよし
副会長 広安 克良 (69回卒)

「海外体験は、人生の肥やし」

歴史ある盈進の121回期の卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

私は、仕事柄、40年近く、東南アジアの国のディスポーザブル手袋会社等で手袋生産ラインの設計・製作・設置の支援をするために、現地の機械屋・電気屋と一緒に仕事をしました。目的が同じなら、言葉が通じなくてもやり抜く事が出来ました。仕事の間の飲み会のコミュニケーションは、人種の違いを超えた人と人の繋がりを育むことができました。飲み会は、どこの国も同じ、ドンチャン騒ぎが好きです。少し前の日本では、一気飲みが流行りましたが、中国の白酒（アルコール度数70）の乾杯は、本当に死ぬかと思うぐらいでした。その後は、二日酔いならぬ五日酔いです。食の違いは、体験しないと分からない事が多いと思います。中国では、蟬の幼虫の唐揚げ・ふじ壺のスープ、台湾では、鶏のトサカのフライ等日本では、絶対口にしない物も供されました。また、仕事を通じて、マレーシアの方と家族ぐるみの付き合いもすることができました。

今の時代インターネットで色々な事を検索し、知ることが出来ます。が、やはり、自分自身の目で見て、体験する事が、人生の肥やしになると、私は思います。最後に、皆さんは大学へ又就職にと進まれますが、海外へ目を向け、体験を通じ自己の成長を目指す事を期待しています。

副会長 やぶた さとし 藪田 聡 (79回卒)

「胸が高鳴る未来へ」

121回期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は卒業して42年盈進関係の全ての方に支えられながら成長してきました。盈進生だった事を誇りに思っています。

皆さんは盈進生として過ごされた学園生活はどうでしたか。友人や先輩・後輩との良い出会いはありましたか。皆さんにとって恩師になる先生方など、学園生活において出会った人たちは生涯の財産になると思います。また在学中経験された様々な事、実績を残された事など、盈進生としての素晴らしい活動は、私たち盈進卒業生としても誇りに思っています。

今年の皆さんに送る言葉は「胸が高鳴る未来へ、明るい希望を謳って幸せな人生を」です。人は苦労や困難を乗り越えることによって、成長し大成します。

これからは考えても考えても、答えが出ない壁が出てくると思いますが、投げ出さず「考え続ける力」「考える力」を身につけてください。混沌とした世界情勢に不安を感じる中、答えが出ない未来を切り開き、逃げずに進んだことで沢山のものを掴むことが出来ます。皆さんが強く成長するのを期待しています。

本当に盈進生になって頂きありがとうございました。

副会長 さなだ こうじ 眞田 幸治 (81回卒)

「人生『七転び八起き』で成功しよう!!」

ご卒業おめでとうございます。盈進での学園生活はどうでしたか。いろいろな経験が

あったことでしょうか。良かった、悪かった、あつという間だった等々人それぞれでしょう。

私は還暦がもうすぐという歳になって思うのですが、**盈進**で学んだことは**沢山**あったと感じています。そのほとんどが野球部での時間だったかもしれません。全力を尽くす、最後まで諦めない、努力に勝るものはない等を今でも日々思って行動しているつもりです。しかしながら、勝負には負けもあるでしょう。皆さんのこれからの人生においては、上手くいくことばかりではなく、失敗や挫折もあるはずで**す**。落ち込んだ時は**盈進**を思い出して、次のステップに向けて頑張り続けてください。前向きに頑張っていれば**運気**が上がり、成功へと導いてくれます。

人生七転び八起きです。早めに起きて安定した人生を送りましょう。これから大人として社会生活が始まりますよ。皆さんにエールを送ります。いつか同窓会総会でお会いできたら、声を掛けてください。

副会長 にしやま みき **西山 美紀 (87回卒)**

「言葉を大切に。人に優しく。」

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間あるいは6年間かけ、あらゆる面において、仲間と共に努力を重ねて得た経験や思い出を脳裏に刻まれたであろう事を心よりお祝いします。

卒業と同時に新たなスタート地点に立ちます。それぞれの道に進むことにはなりますが、乗り越えなければならぬ困難に直面するかもしれません。しかし、物の見方を変えると、新たな自分と出会うことがあります。そんな時は、一つの考え、一つの居場所に留まることなく、常に一歩前に踏み出す**勇氣**を持ってください。新しい可能性が広がっています。

私が心から願うのは、「言葉を大切に。人に優しく。」です。言葉は本当に大事です。発する言葉は良くも悪くも人に影響を及ぼします。人に優しく接する気持ちと想像力があれば、それほど難しいことではないと思います。自分を信じ、大切に成長を重ねながら歩んでください。ご活躍を心より願っています。

同窓会では人と人の繋がりの架け橋となる活動をしています。各支部、そして例年11月に開催される同窓会総会にぜひ参加してみてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

監査委員 やまがみ せいいち **山上 精一 (62回卒)**

「天才とは努力する凡才のことである」 **アインシュタイン**

御卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、保護者の皆さんそれぞれが努力して今日を迎えられ本当におめでとうございます。

今後は、社会人又は上級の学生として自分で責任を持った行動を期待します。アイン

シュタインは立派な人はそれなりに努力していると言っているのだと思います。この言葉は、希望と目標を持って切磋琢磨すれば自分の道が開ける、為せば成る何事もと、励ましてくれているとも受けとれます。

10年、20年後に自分が生きてきた道が分るように、後輩たちに胸張って言えるようになってください。もう一つその自分を育ててくれた母校を誇りに思える行動を期待いたします。

御両親、兄弟、母校、隣人に感謝し、恩返しし、社会貢献をし、頑張ってください。おめでとうございます。

ほんがわら　ますひさ
監査委員 本瓦 益久 (75回卒)

「自らに問い、答えを探そう —谷川 俊太郎『未来へ』より—

259名の皆さん、卒業おめでとうございます。これから進む道はそれぞれ違いますが、学生であっても18歳からは立派な「成人」で、自分で判断し責任ある行動が求められます。

多様性が求められる今日、地政学的リスクの脅威等、世界情勢は目まぐるしく変化しています。生成AIの進化等により簡単に正解を求めがちな時代です。しかし、溢れる情報の中で正しい事を自ら見極める力が大切です。

そのために自分が関わる領域の専門性を高める一方で、物事を俯瞰的に見ることも忘れないでください。視野を広げるツールとしては、本や新聞等の活字から遠ざからない事です。幸い盈進では沢山の本を読む機会に恵まれたと思います。多くの書籍には先人の知恵、見識が詰まっています。その中から多様な考え方を学んでください。また、意見の違う人、異なる進路(異業種)の人と積極的に話す機会を大切にしてください。

学校の中とは違い、外の世界では大半の問題に正解がありません。迷い悩んで当然です。問いが絶えないから飽きることもありません。答えのない問いかけに満ちた「社会」という森へ、ようこそ。(日本経済新聞「春秋」より一部抜粋)

失敗を恐れず挑戦する心を持ち続けて未来へ進んでください。

今後のご活躍を心より願っております。

かんだ　ひろし
副幹事長 神田 浩志 (76回卒)

「真面目にそして感謝の気持ちを忘れずに」

2025年度卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

皆さんが入学された頃は、新型コロナウイルス感染症がやっと5類感染症となり以前のような生活が徐々に取り戻され楽しい高校生活を過ごすことができるようになったのではないのでしょうか。そして無事卒業ができたことは本当に喜ばしく思います。

これからの素晴らしい未来に向けて皆さんは、それぞれ希望に満ち溢れ新しい環境に

飛び立とうとしている事と思います。これからの長い人生では、たくさんの楽しみや多くの喜びが待っている事と思いますが、またそれと共に同じ数だけの困難や苦しい事も長い人生では経験する事と思います。

どんな時も真面目にそして、一生懸命に物事に取り組む姿勢を心がけ、そして感謝の気持ちをもって人生を送ってください。ご両親をはじめ友人や自分にかかわる廻りの全ての人に対して『感謝』の気持ちを持ち続けてください。きっと素晴らしい未来が待っていると思います。

これからの皆さんの人生が幸多きことを祈ります。

副幹事長 おくの てつお 奥野 哲生 (81回卒)

「できるかじゃない。やるかどうかだ。」

卒業おめでとうございます。今日という日を迎えた皆さんは、それぞれの努力と挑戦を積み重ねて来られたことでしょう。これから先、進む道は一つではありません。迷い、不安になり、立ち止まりそうになることもあるでしょう。そんな時、ぜひこの言葉を思い出してください。「できるかじゃない。やるかどうかだ。」自信があるから挑戦するではありません。挑戦するからこそ、自信が生まれるのです。失敗を恐れて何もしなければ、何も始まりません。しかし、たとえ結果が思い通りでなくても、一歩踏み出した経験は必ず皆さんの力になります。限界を決めるのは、周りでも環境でもありません。自分自身です。どうか、自分の可能性を信じ、勇気を持って「やる」と決断してください。皆さんの未来は、これからの行動次第でいくらでも切り拓くことができます。心から皆さんの挑戦と成長を応援しています。

副幹事長 そのう やすはる 園生 康晴 (82回卒)

「当たり前の日々を大切に、自分で選んだ道を生きてほしい」

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これから新たな環境に身を置く中で、忙しさや責任に追われ、日々を「こなす」ように過ごしてしまうことがあります。思い通りにいかない現実と直面し、立ち止まったり悩んだりすることもあるでしょう。

しかし、何気なく迎える朝や、家族や友人と過ごす時間、学びや仕事に向き合える日常は、決して当たり前ではありません。私自身、人生の中で多くのことを考えさせられる経験を重ねる中で、普通に生活できることそのものが、どれほど尊く幸せなことなのかを実感するようになりました。

困難と直面したとき、「なぜ自分だけが」と感じることもあるかもしれませんが、ですが、どんな状況であっても、自分の人生をどう生きるかを選ぶことはできます。失敗しても構いません。遠回りになっても構いません。誰かの期待ではなく、自分自身が納得でき

る選択を積み重ねてください。

盈進学園で過ごした日々や、ここで出会った仲間や学びは、卒業後も皆さんの中に生き続けます。折に触れて母校を思い出し、同窓会を通じて盈進の輪に関わってもらえれば幸いです。

副幹事長 ^{ふじい} 藤井 ^{たけひこ} 毅彦 (86回卒)

「しなやかな竹のように。強い風が吹いても折れることなく、風をいなして立ち続けなさい」

ご卒業、誠におめでとうございます。

まず、保護者の方をはじめ、これまであなたに携わったすべての方に感謝をしてください。今まで、ずっとあなたを見守っていてくれたのです。これから親元を離れ、1人で生活する人もいます。これからは、あなたが自分で考え、そして行動することが必要となるのです。

時代の変化に柔軟に対応し、これまでの既成概念にとらわれることなく、自分を信じて前に進んでください。上手いかなかつたら、またやり直せばいい。つぎはきっと上手いくはず。盈進の卒業生の1人として、あなたの活躍に期待しています。

副幹事長 ^{ふじもと} 藤本 ^{あんな} 杏奈 (94回卒)

「星とたんぽぽ、どちらも夜の道を照らす。

—金子みすゞ『星とたんぽぽ』より—

それぞれの光を胸に、旅立つ皆さんへ。ご卒業おめでとうございます。金子みすゞの詩「星とたんぽぽ」は、私たちの周りにある「見えないもの」や、「目立たないもの」の大切さを、静かであたたかな言葉で教えてくれる詩です。

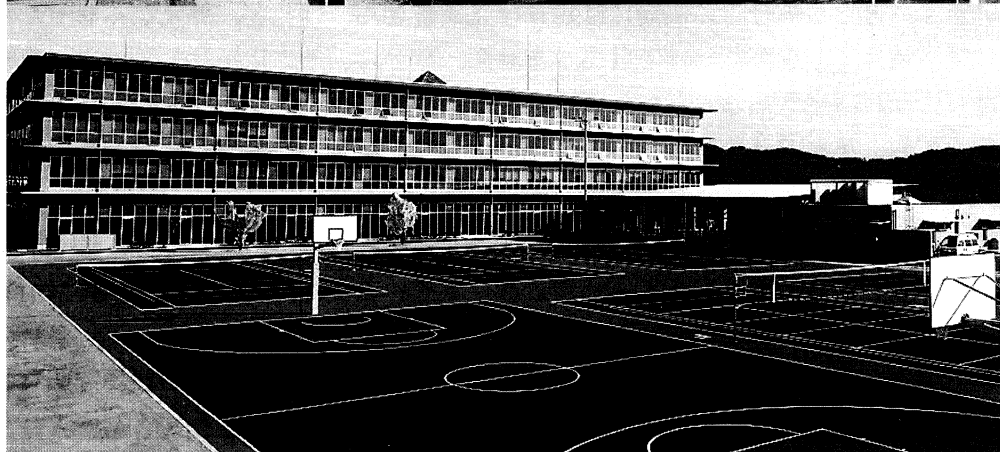
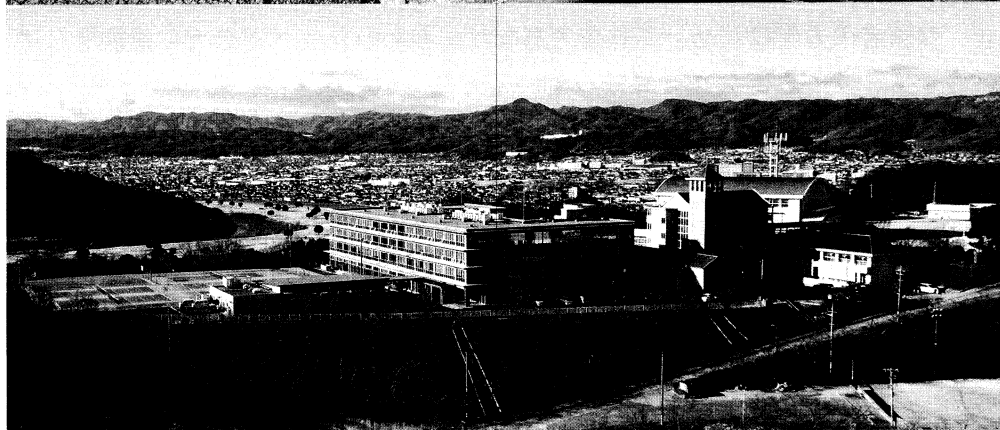
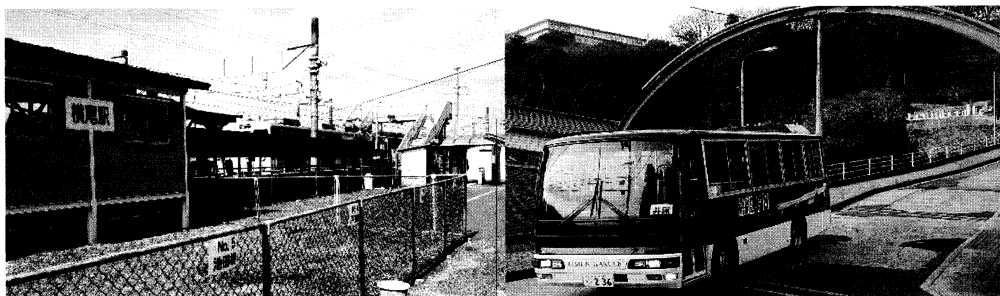
詩の中には、昼間には見えない星と、花が散った後、地中で春を待つたんぽぽが描かれています。どちらも今この瞬間には目には見えません。けれど、見えなくなったからと言って、消えてしまったわけではありません。確かに、そこに存在し続けています。

星は夜になれば空を照らし、たんぽぽは季節がめぐれば、再び花を咲かせます。今は見えなくても、それぞれの場所で、それぞれの役割を果たす時を静かに待っているのです。

皆さんの心の中にある思いやり、努力、希望、感謝の気持ちも同じです。形としては見えなくても、人の心を静かに支える力となります。どうか、「目には見えないけれど、確かにここにあるもの」を胸に刻み、歩んでください。

盈進で皆さんが培った、あたたかくやさしい光を、それぞれの新しい世界で照らしていくことを、心から願っています。そして、盈進生として歩んできた皆さん一人ひとりを、私たちは深い敬意と誇りを持って称えます。

思い出の風景



支部からのメッセージ

東京支部幹事 あらかね 荒金 ますお 益夫 (66回卒)

121回期生の同窓会入会おめでとうございます。私は66回・1971年の卒業生です。私が今心掛けているのは、会社に貢献、地域に貢献、家族に迷惑を掛けない人生をおくり、健康であることです。121回期生の皆さんの中には親元を離れて過ごす人もいますが、苦しい時期もあると思います。しかし目標をもって粘り強く過ごすことが自らの成長と親孝行にも繋がると私は思っています。

関東地域で生活をする皆さん、皆さんの若い力を東京支部の発展のためにお貸しください。私たちと一緒に盈進学園同窓会東京支部のメンバーとして絆を深め、若い力を結集して東京支部を盤石にし、楽しく明るく参加しやすい支部に作り上げていきたいと思えます。

今年度の東京支部総会は6月27日(土)に開催します。関東地方に住む新入会員の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。



▲ 令和7年度東京支部総会・新入会員歓迎会
2025年7月5日(土) 新日鐵代々木倶楽部にて

近畿支部長 きただ 北田 こうし 耕之 (58回卒)

ご卒業おめでとうございます。

卒業証書には、皆さんのこれまでの努力と、支えてくれた方々の思いが詰まっています。現代はテクノロジーがすごい速さで社会を変えています。これから先、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、この学校で学んだことや、お世話になった先生の顔、共に過ごした仲間の顔を思い出してください。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。失敗を恐れず、自分を信じて新しい一歩を踏み出して下さい。皆様の輝かしい未来が幸多からんことを願っています。

近畿支部では、6月7日(日)12時00分より「新大阪ワシントンホテル」に於いて、令和8年度近畿支部総会兼新入会員歓迎会を開催します。新入会員は無料で招待します。お誘い合わせの上で出席して下さい。



▲ 令和7年度近畿支部総会・新入会員歓迎会
2025年6月29日(日) 新大阪ワシントンホテルにて

なかがわ むつあき
日東会会長代行 中川 睦章 (67回卒)

日東会の創立は古く100年を超えています。

名称は文字通り18世紀に朝鮮通信使が鞆福禅寺対潮楼で揮ごうした「日東第一景勝」に因んだものです。会員は私たちが通学した鞆線(鞆鉄道で鞆・田尻・水呑)が対象でありましたが、近年盈進卒業生なら自由参加いただいています。元来、先輩・後輩の絆は深く、まさに「長幼の序」を実践している支部であります。

昨年、6年ぶりに支部総会と懇親会を開催したところ、学園の皆さんをはじめ42名の参加を頂きました。会につきましては、特段の催しはありませんが年に一度再会し「鞆で語ろう!」をモットーに、ワイワイガヤガヤと鞆の夜景を眺めながら親睦を深めています。新卒生の皆さんにはあらためてご案内をいたします。誘い合ってぜひご参加いただき一緒に語り合いましょう。

この度はご卒業、誠におめでとうございます。



▲ 令和7年度日東会総会 全員で校歌を斉唱しました。
2025年10月17日(金) 鞆鷗風亭にて

広島支部長 内藤 邦久 (55回卒)

「謝るときは心から」

(偉人たちの名言)

☆ もし自分が間違っていたと素直に認める勇気があるなら、災いを転じて福となすことができる。(米国の著述家 デール・カーネギー)

☆ 自分の過ちを認めることほど難しいものはない。事態を解決に導くには、素直に自分の落ち度を認めるのがなによりである。(英国の政治家ベンジャミン・ディズレーリ)

☆ 誠意や真心から出たことばや行為は、それ自体が尊く、相手の心を打つものです。

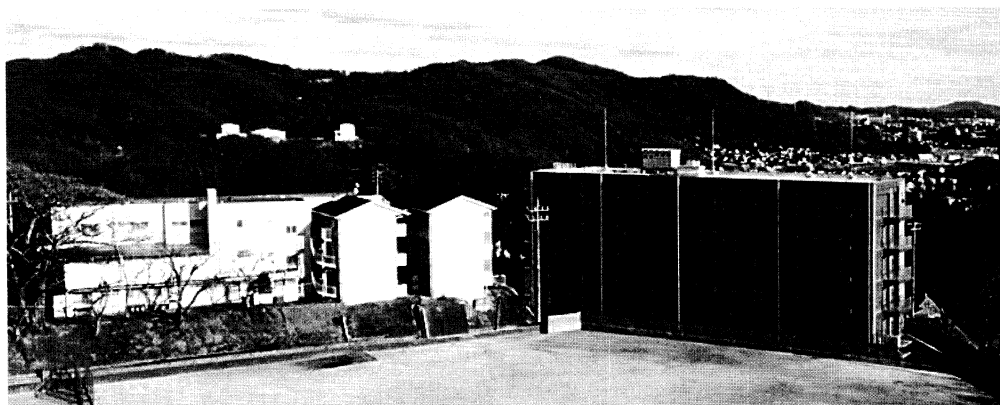
(松下 幸之助)

皆様のご健勝とご活躍をお祈りします。

なお、令和8年度の広島支部総会は9月26日(土)に開催します。121回卒業の皆様は、無料でご招待させていただきます。ぜひご参加ください。



▲ 令和6年度広島支部総会・新入会員歓迎会
2024年9月28日(土) メルパルク広島にて



▲ 新男子寮
2025年12月20日竣工 12月22日入寮開始

同窓会のあゆみ

盈進学園同窓会は、会員29,000余名を擁し長い歴史と伝統に輝く同窓会です。

1. 同窓会の創立

盈進学園同窓会は、1906年（明治38年）5月25日、生徒による自治的な教育活動を目的に、生徒が一致団結して「自成会」を創立したのが始まりです。当初は、もっぱら自主的に弁論習練に励んでいました。やがて本格的な演説会を開催するようになり、卒業生が応援にかけつけ、積極的に参加するようになったため、あたかも「同窓会」と見まがう活動へと発展してきました。同窓会として正式に組織されたのは、1931年（昭和6年）のことです。

2. 会誌・名簿の発行

大正時代から1945年（昭和20年）までの同窓会活動の著名なものは、機関誌である『校友会誌』、『自成会誌』の発行。会員名簿の発行。会を挙げて協力した寺町から三吉町校地移転時の寄付募金活動などです。この時代の特徴は、同窓会と学園が密接不離の関係にあり、同窓生が何事によらず学園を支援し続けたことです。

不幸な大戦が終わって1951年（昭和26年）に戦後第1回の会員名簿を発行し、組織的な同窓会活動を再開しました。昭和30年代からは、組織的活動充実のための諸会議の開催、一時的ですが会の自立に向けた会費徴収が行われました。1964年（昭和39年）に戦後2回目の名簿発行。戦中、戦後と中断した機関誌も1967年（昭和42年）に創刊号を発行しました。学校の講堂で総会も毎年開催されました。

3. 同窓会事務局の設置

星移り1986年（昭和61年）、新機軸が打ち出され学園内に念願の同窓会事務局が設置されました。この頃、現在続く諸活動の原形が出来ました。年会費の徴収、ホテルでの総会開催、ゴルフ大会、機関紙の発行が始まりました。それ以来39年、学園の支援、会員の協力によって活動は安定期を迎えております。

4. 支部活動の活性化・学園創立百周年

1991年（平成3年）には、東京、近畿、広島、日東会の各支部の会員各位の協力をいただき、支部活動の活性化が実現しました。

現在の年間行事は、会報の発行、支部総会への出席、ゴルフ大会、総会、入会式の開催です。特に毎年11月に開いている総会は、盛大さにおいて近隣の学校にその例を見ません。盈進学園同窓会のシンボリックな存在ともなっております。

2004年（平成16年）は学園創立百周年の記念すべき年に当たり、本会から記念事業資金として1千万円を学園へ寄贈しました。また、創立百周年を記念して会員名簿の発行と、同窓会美術展を開催しました。しかし、その反面、若年層の参加者が少ないことや、組織の硬直化という問題を内蔵しています。執行部では、若い会員の皆さんの諸行事への出席を切望しています。どうかご協力をお願いします。

同窓会活動のあらまし



盈進学園同窓会

てんま たかやす
幹事長 天満 敬泰 (79回卒)

ご卒業おめでとうございます。皆さんの同窓会入会を心から歓迎いたします。高校卒業時は、人生の中で一番バランスの取れた知識を所有する時期です。「高校卒業時の志」を時々振り返り、母校で培った建学の精神「実学の体得」をいつまでも大切に、つねに進化する自分を目指し続けてください。

盈進学園同窓会は、母校の発展に寄与し、会員相互の親睦を図ることを目的としております。皆さんが将来、こうした同窓会活動に目を向け、活動に新風を吹き込み、同窓会活性化の力となっていただくことを念願しております。

盈進の先輩たちは、遠く離れていても毎年卒業してゆく後輩を温かい眼差しで見つめております。特に東京、近畿、広島、日東会（福山市鞆町）の各支部では、新入会員歓迎会の準備を進めております。皆さんに案内をお送りしますので、ぜひご出席をお願いします。

それでは、現在の同窓会活動の「あらまし」を紹介いたします。

(1) 各種会議の開催

1. 本部役員会（正副会長会議）

会長のもとで事業の計画・推進などにあたる本会の心臓部。現在構成員は18名です。正副会長・幹事長及び副幹事長と事務局長で構成。

2. 幹事会

本部役員・常任幹事・回期幹事・クラブ幹事をもって構成し、総会に付議する議案など重要案件の審議にあたります。通常年間3回（5月・10月・1月）開催、他に臨時幹事会があります。

このほかに、常任幹事会、事業委員会、総会実行委員会などがあります。

(2) 総会

本会の最高決議機関であり、先輩・後輩の「ふれあい」の場として年1回開催。2026年(令和8年)同窓会総会のご案内は同窓会会報及び同窓会ホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、121回期新卒会員の皆さんは、無料招待とします。

(3) 回期・支部との交流

東京、近畿、広島、日東会（鞆）の支部総会や、回期の同窓会に、同窓会本部から出席して交流を深めています。今年の開催日時と、会場は17ページに掲載しています。（「支部長からのメッセージ」の中にも紹介があります）

(4) 会員名簿の発行

会員相互の諸活動に活用して頂くために、10年毎に全会員の住所や勤務先などを調査して掲載しています。同窓会活動の基本になる重要な事業です。現在の会員数は30,455名。(121回期を含む)

(5) 会報の発行

会員や学園・学校関係のニュースを集めて編集し、学園と共同で発行しています。

昨年の発行部数は15,700部。年1回8月上旬発行。

(6) ゴルフ大会

昨年まで6年間は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止しましたが、例年春に開催しています。

(7) 盈進感謝祭 同窓会バザー出店

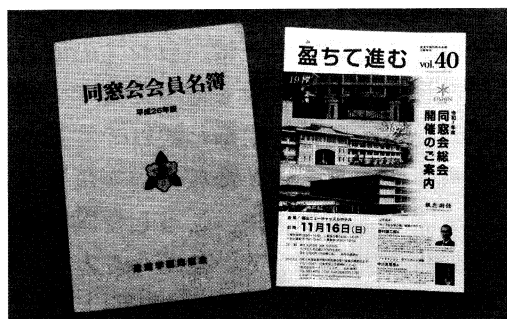
同窓会は盈進感謝祭に出店し、その収益は学園のクラブ活動振興などの支援のために役立てて頂いています。同窓会会員もこの日をとても楽しみにしています。生徒の皆さんから大いに元気を頂いています。

(8) 母校発展のための協力活動

同窓会年会費、同窓会入会金、寄付金、盈進感謝祭における同窓会バザーの収益金、総会広告収入は母校の発展にも役立っております。これまで母校に種々の教具、設備充実資金、奨学資金などを寄贈しました。学園創立100周年記念事業へは1,000万円、また2006年(平成18年)12月には、クラブ活動振興のためにマイクロバス1台(約700万円)を寄贈しました。



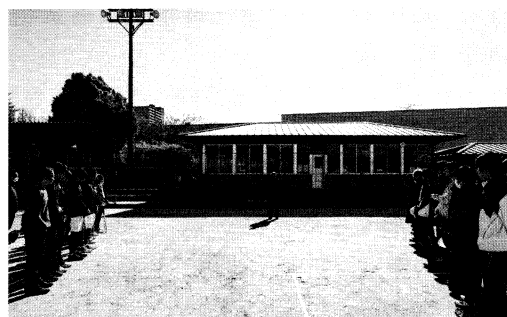
▲ 久しぶりの再会に会話が弾む、後方の席は新卒会員を囲んで
2025年6月29日(日) 近畿支部総会にて



▲ 右: 同窓会会報
左: 同窓会会員名簿



▲ 同総会有志の頑張りで商品は完売
2025年10月11日(土)・12日(日)



▲ ソフトテニス部生徒とOB・OGによる初打会の様子
同窓会は生徒とOB・OGの交流を応援しています。
2026年1月2日(金) 福山城公園庭球場

(9) 盈進学園同窓会ホームページについて

ホームページを通じて国内外にいる同窓生に広く広報活動をすると同時にデータ収集や同窓生企業の紹介と求人、求職活動などに寄与することを目的として設立しております。盈進学園ホームページにもリンクしています。また、会員同期の同窓会やクラス会、会員の催し物の案内情報も掲載しますので、掲載希望がある場合は同窓会事務局へ連絡をお願いします。

●同窓会奨学生制度の創設

2007年（平成19年）の8月に母校の更なる発展を願って、本会の奨学生制度を創設しました。

・同窓会奨学生制度はこんな制度です。

【制度の特長】

学業優秀で経済的に困難な状況にある生徒の学納費支援を行うと共に、在学中不測の事態による主として経済的理由により学業継続が不可能になった生徒の、卒業までの経済的な就学支援を行います。

【制度概要】

1. 学納費支援 学業優秀で経済的に困難な生徒に対して月額1万円を支援します。
(毎年度、中高併せて15名程度)
2. 緊急時支援 在学中、学資負担者の突然の事故や病気などによる経済的な理由で、学業継続が困難になった生徒の卒業までの期間、就学支援を行います。

●盈進学園施設設備拡充募金について

学園による高校校舎新築、中学校舎の全面改修、食堂の新築移設、旧高校校舎の取り壊しとその跡地のグランド整備が実施されたのを受け、2018年（平成30年）11月より、下記の寄付金のお願いを全同窓生に配布し、募金活動を展開しています。

【寄付金の目的及び使途】

寄付は学園の施設設備の拡充を図ることを目的とし、そのための経費に充当します。

【寄付金の詳細】

目標額: 2億円

募集期間: 2018年11月19日～現在継続中です。

募金額: 1口5,000円(できたら2口以上のご支援をお願いします)

寄付者の顕彰 ・ご芳名のホームページ掲載

・寄付者銘板の設置(但し了承いただいた方のみ)

【121回期卒業生の皆さんへのお願い】

121回期卒業生の皆さんへは、この夏の同窓会会報送付の折、「盈進学園施設設備拡充募金」払込用紙を「同窓会奨学生基金口」払込用紙と共に同封いたします。募金へのご協力をお願いします。

■同窓会運営費について

同窓会は同窓会会員よりいただいた年会費(既卒会員現行2,000円、2026.10.より3,000円、新卒会員のみ入会金5,000円)を収入として運営されています。皆様のご協力をお願いします。

同窓会では、一人でも多くの方に楽しく活動に参加していただくために、役員が一人丸となって努力しております。どうぞ皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

同窓会に入会される皆さんへ ～役割と期待～

同窓会事務局長 いのほら しゅうさく 猪原 修作 (64回卒)

ご卒業おめでとうございます。皆さんは盈進学園を卒業と同時に同窓生として盈進学園同窓会に入会していただくこととなります。

私学盈進は学園に集う生徒と教職員の皆さんの並々ならぬ努力によって今日があるのももちろんですが、同窓会を中心とした同窓生の力も併せてここまで発展継続してきたという面があります。

これからも皆さんは同期生として、またクラブ活動を共にしてきた仲間として付き合いがあると思います。そうした仲間と共に青春時代を過ごした学園に対して同窓生として力を貸していただきたいと思います。

同窓生の総意を集め、学園の後援活動に尽くしてきたのが同窓会です。同窓会を支えるのはあなた方一人ひとりの盈進学園への関心です。母校がいつまでも地域に一定の評価を受けることは同窓生として嬉しいものです。これからも盈進に集う生徒や教職員の皆さんは盈進建学の精神を学園の全領域に発揮され続けられることと思います。そんな母校にあなた方259名が学園応援団の一人ひとりになっていただきたいと思います。

卒業する皆さんの中から、28名の121回期幹事を選出させていただきました。幹事の皆さんには、あなた方同期生を繋ぐまとめ役をしていただきたいと思います。そして、同窓生の思いを同窓会に伝えてください。そうすることが、学園応援団としての同窓会を機能させていくことになるとと思います。

その同窓生の思いを伝え、話し合い、実現させていくために同窓会には次のような活動があります。年一回の同窓会総会、幹事に選出された28名が集う年3回の幹事会、正副会長さんを中心に正副会長会議、地域ごとの同窓会活動として東京・近畿・広島・そして地元日東会支部、これら支部では総会や新入会員歓迎会などがあります。また、クラブOB・OG会も各クラブにあります。また、機関誌の発行、同窓会員名簿の発行、さらに在校生への同窓会奨学金募金や学園の施設設備拡充のため

の募金活動、クラブ活動への補助金など、多岐にわたっての活動が同窓会では行われています。これらの活動を行うために、学園内に同窓会事務局を設置しています。

こうした諸々の活動は同窓生の会費を主な収入として成り立っています。同窓生の思いが盈進学園を支えています。そんな同窓会としていつまでも活動ができるよう、同窓生になる259名の皆さん、そしてその代表として28名の121回期幹事の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

同窓会からのお知らせ

◎住所データが必要な場合・同窓会ホームページに掲載希望する場合は

同期の同窓会やクラス会を開くのに必要な住所データは、回期幹事、あるいはクラブ幹事を通して下記の同窓会事務局へご連絡ください。同窓会ホームページにも載せることができます。

電話 084-955-3321・FAX 084-955-3321・E-mail:dousoukai@eishin.ed.jp

同窓会事務局の開局日は、月曜～木曜13時～17時。祝日を除く。

同窓会事務局は、盈進学園北棟2階（北グラウンド側）にあります。

担当：猪原 修作

◎同窓会支部への連絡は

東京・近畿・広島各支部・日東会（福山市鞆町）へのご連絡は、同窓会事務局へお願いします。

◎各支部の総会並びに新入会員歓迎会について

2026年(令和8年)度予定

近畿支部 6月7日(日) 12:00 開会 新大阪ワシントンホテルプラザ(新大阪駅南口)

東京支部 6月27日(土) 12:00 開会 新日鐵代々木倶楽部

広島支部 9月26日(土) 17:00 開会 メルパルク広島(広島そごう西隣)

日東会 10月中旬に実施予定

- ・支部の新入会員歓迎会の案内状をお送りするために、東京・近畿・広島方面に進学、就職される皆さんの新しい住所調査を3月下旬～4月上旬に行います。

ご自宅に文書をお送りしますので、調査にご協力をお願いします。

この調査によって知り得た住所データは、同窓会からのご案内に使用します。そのほかの目的に使用することはありません。

◎本年度の本部同窓会総会については8月上旬にお送りする会報及び同窓会ホームページに掲載します。

2026 (令和8) 年度同窓会総会のご案内



盈進学園同窓会

はぎはら やすひろ
総会実行委員長 萩原 康博 (84回卒)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業と同時に同窓会に入会する事になりますので、どうぞ宜しくお願いします。私は今年度の同窓会総会の実行委員長を務めます。務めるにあたり2つの目的で実行していきたいと思っています。それは「久しい友人と再会できる機会の場にする」と「次世代へ負担の少ない形でバトンを繋ぐこと」です。「同窓会がある時代」から「同窓会もある時代」、人の繋がり方の選択肢が沢山選べるなかで、偶然は逆に少なくなっているように思います。約束など無くても同窓会総会に行けば久しい友人に再会できる。そんな場になればと思います。是非、今年の総会にみんな来てください。少し大人になった友人と再会できるかも。お待ちしております。



▲令和7年度総会 野村謙二郎さんの熱弁を聞く

日時 11月15日 (日)

◇ 受付時間 10:00~11:00

◇ 総会行事 11:00~

会場 福山ニューキャッスルホテル

会費 121回期新卒会員は無料

※ 総会テーマ、当日の日程、会費、申込先などは5月の同窓会幹事会で発表します。また、同窓会ホームページにも掲載しますのでご覧ください。



▲アクションたっぶりの中川真理恵(106回卒)さんのクラリネット演奏

盈進学園同窓会会則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 本会は、盈進学園同窓会と称し、本部事務局は、盈進学園内に置く。
- 第 2 条 本会は、会員相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的とする。

第 2 章 会 員

- 第 3 条 本会は、次の会員をもって構成する。
1. 正会員 母校卒業生、及びかつて母校に在学した者で、会員の推薦により会長が学校長と協議して承認したもの。
 2. 特別会員 母校現職員、及び旧職員であった者の中から学校長の推薦により会長が承認したもの。

第 3 章 組 織

- 第 4 条 本会の組織は、次の通りとする。
1. 本部事務局を置く。
 2. 回期会を設置する。
 3. 地域支部、職域支部、同好会支部、学園支部を設置することができる。
 4. 会長は、毎年度総会の開催にあたり実行委員を委嘱し、総会実行委員会を組織する。
 5. 会長の諮問機関として幹事会に諮り、専門部会を置くことができる。

第 4 章 事 業

- 第 5 条 本会の目的を達成するために次の事業を行なう。
1. 年1回総会を開く。必要に応じて、会長は、幹事会に諮り臨時総会を開くことができる。
 2. 年1回入会式を行なう。
 3. 会報、及び会員名簿を発行し、頒布する。
 4. 母校、回期会、支部の活動を奨励、援助する。
 5. 会員で本会の発展に功労顕著であると認められた時は、幹事会に諮り会長がこれを表彰する。
 6. その他目的達成のために必要な事業を行なう。

第 5 章 役員及び顧問

第 6 条 本会は、次の役員を置く。

会 長	1名
副 会 長	8名以内
監査委員	2名
幹 事 長	1名
副幹事長	12名以内（会計、庶務担当各1名を含む）
常任幹事	40名以内 （以上をもって常任幹事会を構成する）
幹 事	各組織から3名以内
代 議 員	各回期会から5名以上～15名以内

第 7 条 役員任期は、2カ年とし再選を妨げない。補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

第 8 条 役員選出は、次の通りとする。

1. 会長、副会長、監査委員は、正会員の中から総会において選出する。
2. 幹事長、副幹事長は、常任幹事の中から会長が委嘱する。
3. 常任幹事は、幹事の中から会長が委嘱する。
4. 幹事は、各組織の中から選出し会長が委嘱する。
5. 代議員は、各回期会の中から選出し会長が委嘱する。

第 9 条 役員任務は、次の通りとする。

会 長	本会を代表し会務を総理する。
副 会 長	会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。
監査委員	会務執行の状況並びに会計を監査し、幹事会及び総会で報告しなければならない。
幹 事 長	会長の意を体して会務を統轄し、本会の運営に当たるものとする。
副幹事長	幹事長を補佐し、幹事長事故ある時はこれを代理する。
常任幹事	幹事長、副幹事長を補佐し、本会の運営に当たるものとする。
幹 事	本会運営の協議に参画するとともに各組織との関係を密にして、本会の活動を推進する。
代 議 員	本会の運営に関し、重要事項の審議に応ずるとともに、本会発展のため、所属回期会の組織活動の推進にあたる。

- 第 10 条 本会に顧問及び相談役を置く。
1. 顧問及び相談役は、総会において推薦する。
 2. 顧問及び相談役は、会長の諮問に応え意見を述べることができる。

第 6 章 会 議

- 第 11 条 本会の会議は、次の通りとする。
1. 総会は、本会の最高決議機関で、事業計画、予算、決算の議決、会務の報告、会則の変更、その他重要事項を審議する。総会の実施については別に細則を定める。
 2. 代議員会は、総会に次ぐ決議機関で重要事項を審議する。なお、代議員及び幹事で構成して総会に代えることができる。
 3. 幹事会は、総会に提出する議案、及び事業執行に関する重要事項を審議する。
 4. 常任幹事会は、本会の企画、運営について協議し、執行する。
 5. 各会議は、会長が招集し、議決は、出席者の過半数をもってする。
 6. 本会則は、総会において出席会員の3分の2以上の賛成を得て変更することができる。
 7. 総会実行委員会は、会長の指示のもとに総会開催を担当する。

第 7 章 会 計

- 第 12 条 本会の経費は入会金（卒業時）と会費（年会費3,000円）と臨時会費、寄付金、その他の収入でまかなう。
- 第 13 条 本会の会計年度は10月1日から翌年9月30日までとする。

第 8 章 雑 則

- 第 14 条 会員は、会員名簿記載事項に変更を生じた時は、速やかにその旨を本会に通知しなければならない。
- 第 15 条 この会則に定めのない事項については、幹事会に諮って会長が別に定めることができる。

附 則 本会則は、令和8年10月1日より施行する。（第12条改正）

総会細則

会則第11条1項の規定により本細則を定める。

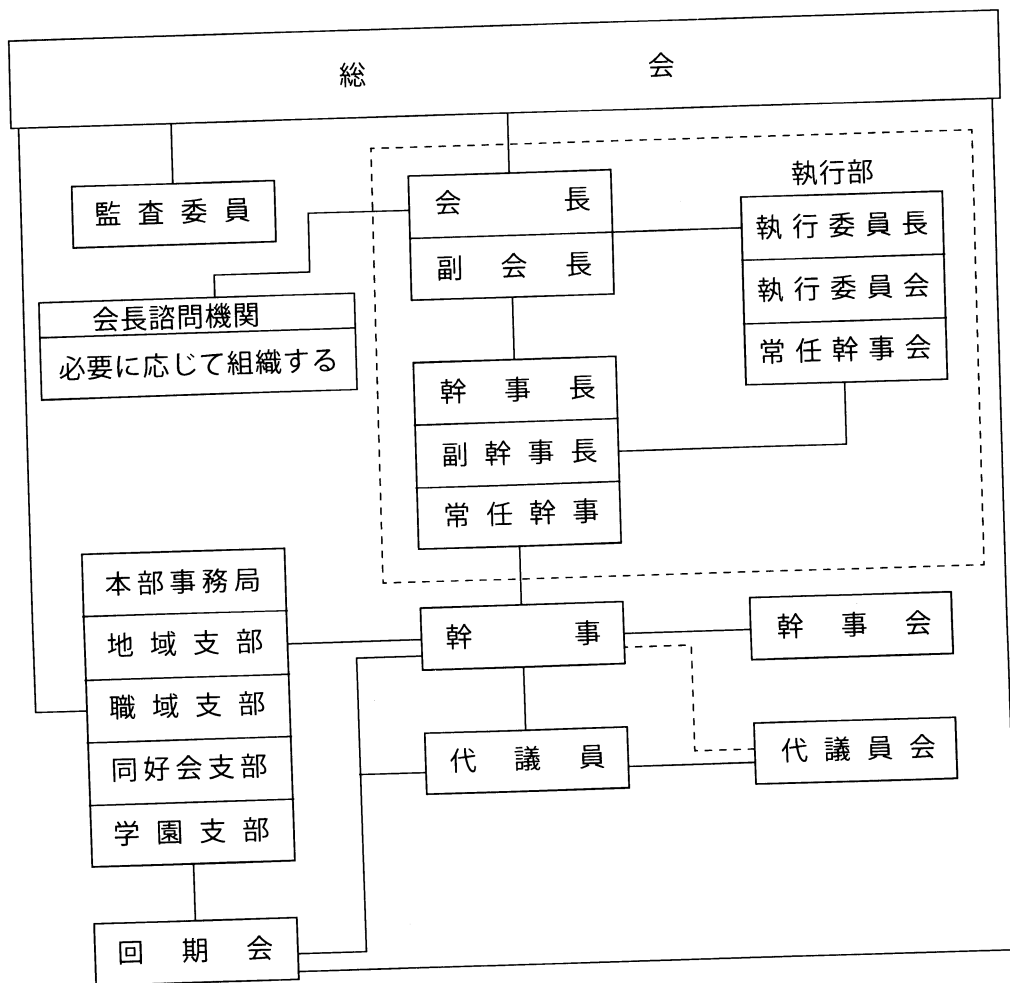
- 第 1 条 定例総会(年1回)を開くにあたり、開催日の1年以上前に実行委員会(当番制)を結成し、実行委員会執行部と本部役員の商品会議(以下合同会議)を催し、次年度総会行事に関する協議をする。
- 第 2 条 当番回期は原則として3回期制とし、年長回期を責任回期とし各当番回期より実行委員を選出し、実行委員会を結成。実行委員長は、原則として、年長回期より選出する。

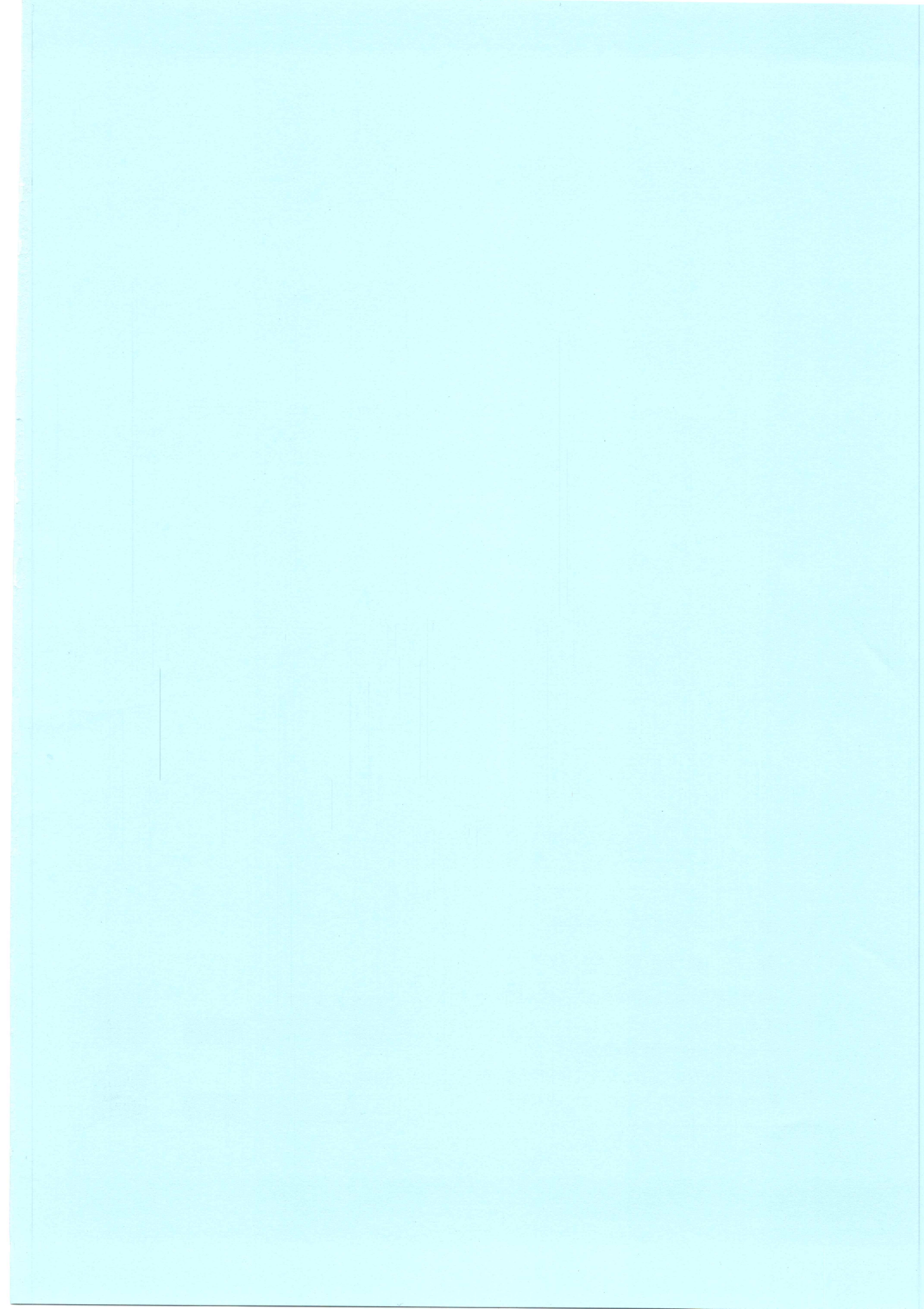
年 度	当 番 回 期	
	責任回期	
令和8	84回期	85・86回期
9	85回期	86・87回期
10	86回期	87・88回期
11年度以降は順次繰り上げていく。		

- 第 3 条 総会行事の責任回期を担当した回期と43回期以前の回期は、以後当番回期を免除する。
- 第 4 条 招待者は、学園理事、学園監事、教職員、旧教職員、保護者会会長 副会長、同窓会顧問、その他会長の認める人。
- 第 5 条 総会に関する会計は特別会計として実行委員会より会計責任者を選任し、総会開催後の幹事会に於いて会計報告をする。
- 第 6 条 総会行事に関する職務分担を次の通り定める。
1. 日時、場所、行事計画、予算の協議は、開催日1年以上前に会長が招集し、合同会議にて決定する。
 2. 総会に関する会務の諸案の作成、行事は、常任委員会において協議決定する。
 3. 総会時の懇親会に関する諸案の作成、行事は、実行委員会にて協議決定する。
 4. 総会要覧、会員券、広告に関する作業は、実行委員会にて実施する。
 5. 会員券(年会費2,000円をふくむ)の拡販については、会長が幹事会を招集し、協力の要請をする。
 6. その他本細則に決まりなきものについては、実行委員会にてよく協議し、会長の承認を経て実施する。

- 附 則 本細則は、昭和60年10月28日より施行する。
 本細則は、平成6年10月14日より施行する。(第4条改正)
 本細則は、令和5年11月13日より施行する。(第2条改正)

盈進学園同窓会機構図





2026年（令和8年）2月発行

盈進学園同窓会

〒720-8504 福山市千田町千田487-4

TEL (084) 955-3321

FAX (084) 955-3321

URL:<http://eishin-ob.net/index.html>

E-mail:dousoukai@eishin.ed.jp

◎盈進学園HP

広島 えいしん

検索



◎同窓会HP

えいしん同窓会

検索

